



令和6年7月9日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」の開催について ～全国の中学生在が都道府県対抗で科学の力を競う～

JST（理事長 橋本 和仁）は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術・イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の中学生在が都道府県を代表して科学の力を競う「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」を令和6年12月13日（金）から12月15日（日）まで、兵庫県姫路市で開催します。

全国大会では、各教育委員会が実施する都道府県大会で選出された47の代表チームが、理科や数学などの複数分野にわたる「筆記競技」と「実技競技」に取り組み、総合点を競います。本大会は、兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市との共催で、文部科学省などの協力を得て開催します。今年度も47都道府県からの参加が予定されており、6月1日の長野県での実施を皮切りに、都道府県大会が行われています。

変化の激しい知識基盤社会を迎え、中学校教育においても科学的リテラシーの醸成が重要視されています。その一方で、学力・学習状況調査などでは、中学段階での生徒の「理科離れ」や科学好きの生徒が切磋琢磨し評価される場の不足が指摘されています。このような状況を踏まえ、全国の中学生在が科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場として「科学の甲子園ジュニア全国大会」を実施します。

JSTでは、発達段階に応じ才能を伸ばせるよう体系的な人材育成に取り組んでいます。「科学の甲子園ジュニア全国大会」や、今年で14回目を迎える高校生版「科学の甲子園全国大会」などの事業を通じて、科学好きの裾野を広げ、活躍する機会を提供していきます。

大会の概要や出場チーム選考などの詳細は、別紙または下記URLを参照してください。

日 程：令和6年12月13日（金）～15日（日）

場 所：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）
（兵庫県姫路市神屋町143-2）

URL：<https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

<添付資料>

別 紙：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

参考1：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧

参考2：「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県大会開催日程一覧

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「第12回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

1. 目的

第12回科学の甲子園ジュニア全国大会（以下、「全国大会」という。）は、理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とします。

2. 全国大会の実施・協力体制

- (1) 主催 科学技術振興機構（JST）
- (2) 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- (3) 後援 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会
公益社団法人日本理科教育振興協会
- (4) 都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

3. 開催日程

- (1) 令和6年12月13日（金）～15日（日）
- (2) 大会の日程は以下の通り
 - 12月13日（金） 開会式、オリエンテーション
 - 12月14日（土） 筆記競技、実技競技、フェアウェルパーティー
 - 12月15日（日） 協働パートナーなどによるブース展示、表彰式

4. 場所

アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）
（兵庫県姫路市神屋町143-2）

5. 出場チーム

- (1) 各都道府県教育委員会は、当該都道府県内の全ての中学校などを対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行います。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めによります。
- (2) 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとします。
- (3) 全国大会出場チームは複数の学校で編成される場合もあります。
- (4) 出場チームは中学1、2学年の生徒（中等教育学校前期課程にあつては同年次の生徒）で構成します。
- (5) 出場チームの員数は6人とします。

6. 競技の種類

全国大会では、筆記競技と実技競技を行います。

(1) 筆記競技

理科・数学などの複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加え、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決します。

(2) 実技競技

ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競います。

7. 競技の形式

筆記競技は6人1チーム、実技競技は3人1チームで、課題を分担、相談するなど協力して成果を競います。競技数、競技者数および競技時間は以下の通りです。

種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
筆記競技	1競技	6人／1競技	筆記競技と実技競技の配点比率は1：2とします。	70分程度
実技競技	2競技	3人／1競技		競技毎に決定

8. 表彰など

- (1) 各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- (2) 優勝チームに文部科学大臣賞を授与するほか、成績上位チームについても表彰します。
- (3) 主催者は協賛企業を募り、その他の表彰を行います。
- (4) 成績上位の出場チームについては、その成績を公表します。

以上

「第 1 2 回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧
 (50音順・予定含む)

No.	協賛企業・団体
1	株式会社内田洋行
2	株式会社エムス・テック
3	株式会社学研ホールディングス
4	ケニス株式会社
5	株式会社ジー・サーチ
6	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
7	スカパーJ S A T株式会社
8	スリーエムジャパン株式会社
9	帝人株式会社
10	テクノプロ・グループ
11	株式会社東芝
12	トヨタ自動車株式会社
13	株式会社ナリカ
14	公益財団法人日本科学協会
15	公益社団法人日本理科教育振興協会
16	公益財団法人ひょうご科学技術協会
17	UBE三菱セメント株式会社
18	株式会社リソー教育

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	スクールサポート株式会社
3	公益財団法人日本発明振興協会